

長久手市中央図書館 事業報告（1月分）

おはなし会

事業名	日時	参加人数
おはなし会 〔幼児から低学年〕(吾亦紅)	1/12(土) 10:30～11:30	25人
乳幼児向けおはなし会 (図書館ボランティア) 保健師育児相談	1/17(木) 11:00～11:30	29人(2人)
おはなし会〔幼児から低学年〕 (図書館ボランティア)	1/19(土) 14:00～14:30	6人
ブックスタートおはなし会 (図書館ボランティア協力)	1/19(土) 15:00～15:30	52人 対象児 15人
えいごのおはなし会 (レディバグ)	1/26(土) 10:30～11:30	20人

閲覧室内企画展示

テーマ	資料内容
ゆく年くる年	年末年始の季節に合わせて、冬・雪・お正月などのが題材の絵本を主に児童書93冊。
パーティをはじめよう	お祝いの機会が多いこの時期に合わせて、物語・絵本を中心に選書。「不思議の国のアリス」、「まよなかのパーティ」などの児童書を80冊。
長久手高校とのコラボ企画 生徒おすすめ本とPOP展示	長久手高校図書委員が作成した本のPOPを、一部中央図書館でも展示し、合わせて同校でよく読まれた本も展示。
〔ミニ展示〕思いが伝わる 手紙の書き方・手作りカードなどの本 をそろえました。	年賀状、手紙の書き方や、カード、封筒などの作り方の本を選書。「てがみはすてきなおくりもの」、「かんたん楽しいてづくりカードBOOK」など23冊。

その他

事業名	日時	備考
長久手中学校職場体験学習(2年生)	1/16(水)、17(木)	3人
第2回長久手市中央図書館運営協議会	1/31(木)	H30年度 事業報告 H31年度 事業概要

2月の予定

閲覧室内 企画展示（2月から展示する新規分）

テーマ	内 容
小牧・長久手の戦い	「小牧・長久手の戦い」に関する資料を90冊選書。
ねこのほん	2月22日「ネコの日」にちなみ、ネコが登場する児童書を200冊選書。
掘り出しもの市	貸出回数は少ないが、子どもたちに読んで欲しいと学校連携司書が選んだ児童書130冊。

その他

事業名	日時	備考
図書館蔵書資料の点検・整理整頓	2／5(日)～16(土)	図書館の蔵書等の全て、約24万点を点検、整理整頓。
リサイクル市	2／17(日)～ 24(日)	上記の点検・整理整頓の結果、除籍した資料等を市民等に譲渡。

平成30年度 中央図書館事業 事業進捗状況管理表

	事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備 考
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	児童館図書室での貸出事業	・貸出状況が把握されていない。 ・司書による定期的なメンテナンスが必要	・貸出状況調査の実施 ・長久手南児童館をモデル館とし、年間貸出数400冊(平成29年度約360冊)	1.団体貸出本の入替え、対象年齢別に本を棚に配置。 2. 図書室の貸出冊数を記録。	児童館本と図書館本とに分けた月別の貸出冊数を翌月の10日までにもらうこととし、報告を受けた。 団体貸出を予定している2児童館(西、青児)について、利用状況の聞き取り調査と協議を行った。	南児 選書協議 集計と検証(毎月) 31冊(18冊)	南児 団体貸出入替 53冊(23冊)	下山児 選書協議 29冊(14冊)	下山児 団体貸出入替 30冊(23冊)	49冊(28冊)	41冊(20冊)	41冊(16冊)	54冊(20冊)	37冊(23冊)	←全数(うち中央図書館からの)	南児児童館に集計継続を依頼	第2次子ども読書活動推進計画 基本目標Ⅱ-2-(2)	
2	中高生向け特化棚づくり事業	中高生向けの棚の利用冊数が少ない	中高生向けの棚の貸出冊数 年間6,200冊	1.新着図書リストを2ヶ月ごとに作成、掲示。 2.図書館ホームページ内の該当ページを2ヶ月ごとに更新。 3.中学校図書館での情報掲示。 4. 市内の2高校の図書館便りを2ヶ月に1度掲示更新	中央図書館で新しく蔵書化した本のうち、中高生向けの図書をリスト化。 中高生向けの棚の貸出冊数 1/22現在5,034冊(前月比79%増)		中高生向き新着図書リストの作成、掲示											
3	不明化対策事業	不明本が発生している	年間の不明本冊数減らす。 (前年度209冊、目標150冊)	1.不明化傾向分析に基づく本の配置換え。 2.本にマーキング(館所蔵を表示) 3.職員の巡回による抑止力強化 4. 返却場所不明本用の小型書架の増設(3台) 5.防犯カメラ等の表示貼替え	不明化傾向分析に基づく本の配置換えを継続。 本にマーキング(館所蔵を表示)を継続。 シフト交代時に館内を巡回。 夏休み中はシルバーも巡回。	職員等による閲覧室巡回	不明化傾向分析に基づく本の配置換え、本にマーキング(館所蔵を表示)	返却場所不明本用の小型書架の購入手続き(3台)	防犯カメラ等の表示貼替え	集計と検証(毎月)	黄ばみ等の点検、位置の変更など							
4	延滞対策事業	延滞本が発生している	月次集計時点での延滞冊数を500冊以内とする。	1.15日以上延滞者に督促はがきを毎週郵送 2.長期延滞者宛のはがき色を変更 3.延滞者への注意喚起カードを作成し、窓口で渡す	長期延滞者宛に黄色のはがきを使用開始。 延滞者への注意喚起カードの様式を定め、窓口カウンターにて使用中。	延滞者に督促はがきを毎週郵送(通年)	延滞者への注意喚起カードの作成	集計と検証(毎月)	668冊	482冊	388冊	256冊	298冊	266冊	309冊	224冊	203冊	232冊

平成30年度 中央図書館事業 事業進捗状況管理表

	事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備考	
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
5	学校図書館の貸出事業	子どもが毎日通う学校の図書館で貸出を増やす必要がある	年間貸出冊数 小学校151,000冊 (H29 147,601冊) 中学校8,900冊 (H29 7,096冊)	学校連携司書による取り組み ◎読書の楽しさ伝授 ・読み聞かせ ・ブックトーク ◎興味や関心に応じた本の紹介 ・子どもの読書相談に応談	新刊本の装備等、受入を進めている。 【参考】 2学期末での貸出冊数累計 小学校115,103冊 (目標の76%) 中学校 10,603冊 (目標の119%)	学校での読み聞かせ・ブックトーク 小5校 小全校 小全校 小4校 中1校 中全校 中全校													
						レファレンス相談 5件 5件 12件 8件													
						子どもの読書相談に応談(常時)	※9、10月は行事(修学旅行、読書感想画等)が多いため相談増加。												